

研修する領域 例)血液・腫瘍	領域別年間外来患者 実数	領域別年間入院 患者実数	代表的な疾患について過去一年間の疾 患別症例数[数字で]示せない領域は文章 で説明
新生児疾患 先天異常 成長・発達	800 人	157 人	極低出生体重児 60 人 呼吸窮迫症候群 50 人 多胎 30 人 small for dates 児 25 人 先天性心疾患 20 人 感染症 20 人 小児外科疾患 10 人 奇形・先天異常 45 人
循環器疾患	1,006 人	209 人	心房中隔欠損症 28 人 ファロー四徴症 25 人 心室性中隔欠損症 20 人 動脈管開存症 14 人 完全大血管転位症 10 人 房室中隔欠損症 10 人 両大血管右室起始症 9 人 左室低形成症候群 7 人 純型肺動脈閉鎖 7 人 総肺動脈還流異常症 7 人
血液・腫瘍疾患 免疫疾患 膠原病 リウマチ性疾 患	800 人	81 人	免疫性血小板減少症 5 人 白血病 12 人 悪性リンパ腫 4 人 固形腫瘍 10 人 ランゲルハンス細胞組織球症 3 人 若年性関節リウマチ 5 人 全身性エリテマトーデス 5 人 骨髄移植 8 人
神経・筋疾患 精神・行動・ 心身医学 思春期疾患 発達障害	1,000 人	265 人	けいれん性疾患 60 人 てんかん 40 人 急性脳症 10 人 代謝性疾患 10 人 頭部外傷 10 人 発達障害 20 人 脳性麻痺 10 人 髄膜炎 5 人 筋疾患 10 人

腎・泌尿器疾患 水・電解質異常	800 人	86 人	ネフローゼ症候群 50 人 IgA 腎症 30 人 急性腎不全 15 人 慢性腎不全 15 人 腹膜透析 5 人 急性血液浄化 15 人 神経因性膀胱 30 人 腎尿路奇形 80 人
アレルギー疾患 栄養・消化器疾患	200 人	15 人	気管支喘息 50 人 食物アレルギー 30 人 胃食道逆流症 30 人
内分泌疾患 先天代謝異常 代謝疾患 生殖器異常	110 人	51 人	低身長 40 人 肥満 15 人 甲状腺疾患 20 人 糖尿病 20 人 思春期早発 5 人 下垂体機能異常 6 人 副腎疾患 4 人 骨系統疾患 3 人 高インスリン性低血糖 2 人
感染症 呼吸器疾患 救急疾患	3,000 人	200 人	高度救命救急センターの夜間 1・2・3 次外来を毎日担当し、年間 3,000 人以上 の救急疾患を診療している。感染症等の 救急疾患の入院が多い。